

2020年4月10日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社リコーで「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ}三毛 兼承）は、株式会社リコー（社長執行役員 ^{やました よしのり}山下 良則（以下、当社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション¹⁾等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本契約）を、本日締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、事業活動を通じて排出される GHG（温室効果ガス）絶対値ベースによる削減目標を SPT として設定し、毎年度 SPT 達成状況に応じて、優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。

本削減目標は、国際的なイニシアチブである SBT（Science Based Targets）イニシアチブ²⁾の新基準「1.5°C目標」に基づいています。

本契約では、株式会社格付投資情報センターより、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

本契約の SPT は、当社グループのサステナビリティ戦略を遂行する上で重要な役割を担っております。また、SBT イニシアチブの「1.5°C目標」に基づいた GHG 削減目標は当社にとって意欲的な目標設定であり、脱炭素社会実現への貢献、持続可能性の改善に結びつくものとして、意義の深い取組みと考えます。

本ローンの概要

契約締結日	2020年4月10日
貸出人	三菱UFJ銀行
組成金額	100億円
資金用途	事業資金

当社は、2020年4月の「第20次中期経営計画」のスタートに合わせて、「リコーグループ環境目標」を見直し、2030年のGHG削減目標を2015年比で従来の30%削減から63%削減に改定しました。世界の潮流の変化を踏まえた目標改定で、従来の2030年の目標値を2022年に達成することになり、実質8年の前倒しを目指す野心的な目標となります。

徹底的な省エネ活動と再生可能エネルギーの活用により、「1.5℃目標」に沿ったGHG排出の継続的な削減を図り、脱炭素社会の実現に向けた2050年目標であるバリューチェーン全体のGHG排出ゼロの達成を目指しています。

三菱UFJ銀行は、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現するため、2019年8月にサステナブルビジネス室を設立しました。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

リコーの環境目標に関するプレスリリースは以下リンクをご参照ください。

(ウェブサイトへのリンク) https://jp.ricoh.com/release/2020/0325_1/

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に60ヶ国以上約630機関が加盟。

[2] 企業のGHG削減目標が科学的な根拠と整合したものであることを認定する国際的なイニシアチブ。パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準(Well Below2℃ : WB2℃)、もしくは1.5℃未満に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標。

以 上